

ホームズ君「構造EX」 許容応力度計算ガイド

- ・ホームズ君「構造EX」許容応力度計算オプションを利用して、許容応力度計算を行います。
- ・本資料では、許容応力度計算の構造計算書作成までの操作手順を説明します。
- ・許容応力度計算を行いたい物件の間取りと建物の仕様がわかる資料をお手元に準備してください。

構造EX



メインメニューで、「新規作成」ボタンをクリックします。

① 新規作成



② CAD入力

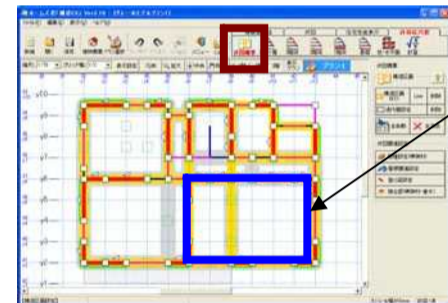


メインメニューで、「CAD基本入力」ボタンをクリックします。



■CAD入力画面
建物の間取り、耐力壁、開口部などを入れます。

③ 伏図概要



■伏図概要
外周壁線及び耐力壁を含む主要な間仕切壁線を用いて、構造区画を入力します。
また、以下の設定などを行います。
・樹種設定
・柱頭柱脚接合金物

④ 伏図入力



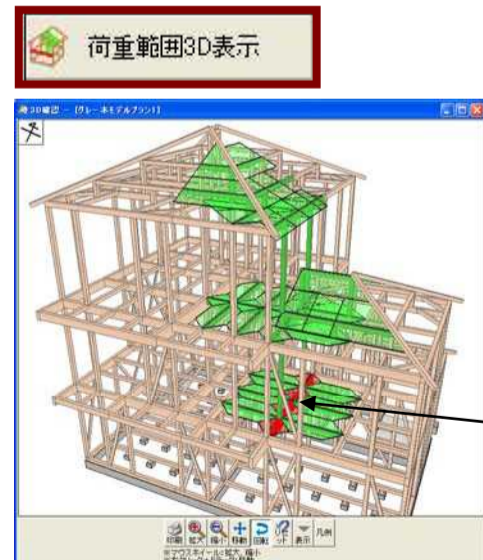
■伏図(3階母屋～基礎)
各伏図の入力を行います。「全自動」で棟木、隅木・谷木、母屋、梁・桁などを自動入力することができます。

▼伏図一覧

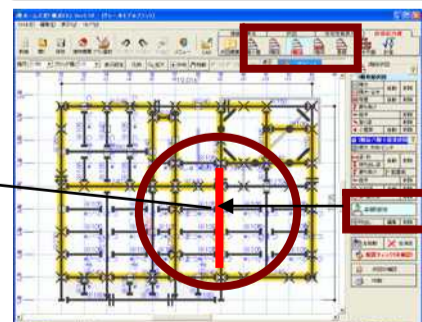
- ・3階母屋伏図
- ・3階小屋梁伏図
- ・2階母屋伏図
- ・3階床/2階小屋梁伏図
- ・1階母屋伏図
- ・2階床/1階小屋梁伏図
- ・1階床伏図
- ・基礎伏図



⑤ 荷重範囲3D表示

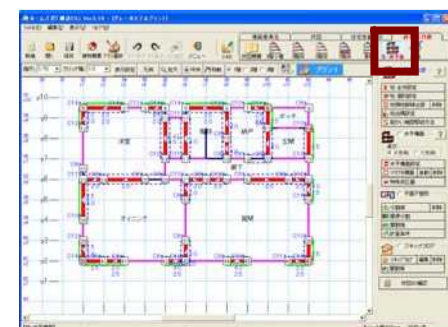


■梁個別設定-荷重範囲 3D表示
選択した梁の負担する荷重範囲を3Dで確認できます。算定対象の梁にどの範囲の荷重がどのように伝達されているかが確認できます。

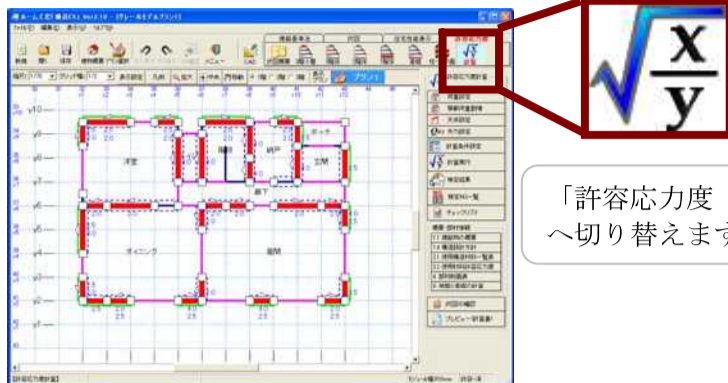


■柱・水平構面
「柱/接合部」「水平構面」の入力を行います。

⑥ 柱・水平構面



⑦ 計算モード切替



「許容応力度 計算モード」へ切り替えます。

⑧ 条件設定



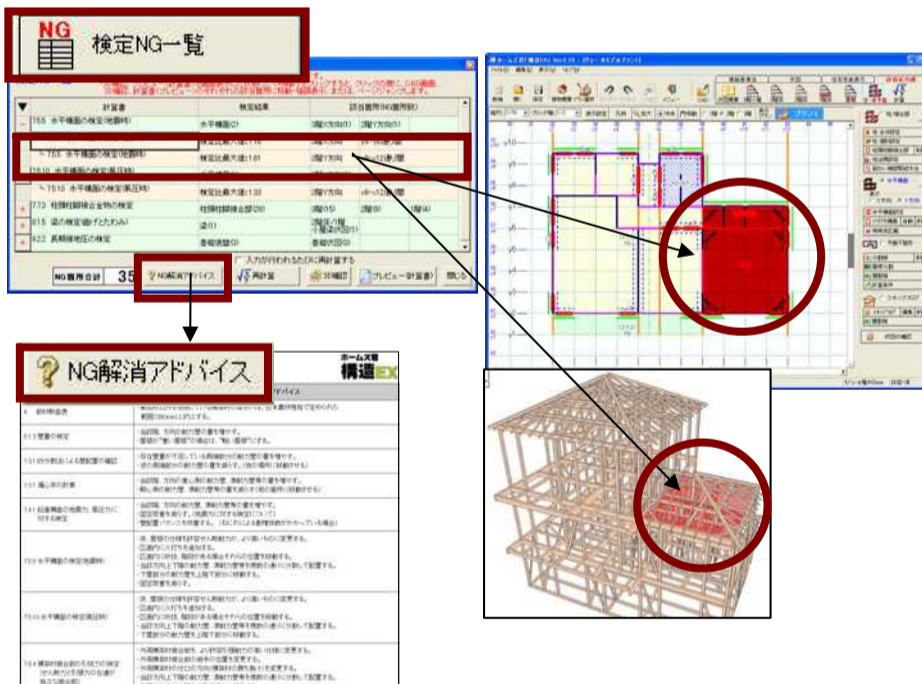
「荷重」や「外力(地震力、風圧力)」などの条件設定を行います。

⑨ 計算を行う



「許容応力度計算」を行い、各部の検定を行います。

⑩ 検定NGチェック



許容応力度計算の結果、検定がNGとなる部位を一覧表示します。一覧の詳細行をクリックすると、「CAD画面」「伏図3D確認画面」「計算書プレビュー画面」の該当箇所を強調表示します。検定NGが全てなくなるように、問題点を解消します。

⑪ 構造計算書を印刷する

